

2020 年度ゼミ (3003 演習 2A/3004 演習 2B) 要覧

担当者名	助川哲也
演習テーマ	未来に引き継ぐ
校外実習	2、実施 (実施時期:2021 年 3 月)
メール・アドレス	sukegawa@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	研究室在室中ならいつでも
2021 年度に開講 しない可能性 (在外研究・特別研究)	開講します。
授業概要	戦跡や強制収容所跡、あるいはハンセン病療養所、天災の被災地など、いわゆる「負の遺産」をこれから先の人々にどう受け継いでいくのか。単に悲惨の跡を見せつけるのではなく、新しい伝承、また芸術の地として発展的に繋いで行こうとする流れが方々にあります。国内外に目を向け、過去への反省と未来への希望の接点から何が生まれようとしているのかを学んでいきます。
学習目標	世界の「負の遺産」に目を向けることで近現代史的な人類の歴史を理解し、未来に向けて受け継ぐ姿勢の新たな展開方法を学び、それぞれの人生の表現力とその可能性を高めます。
授業計画	ベルリンのアーティスト占拠廃墟ビル (元ナチス親衛隊関連ビル) タヘレス、壁博物館、チェコのテレジン強制収容所跡、プラハのゲットー博物館、南京虐殺記念館、ソウルの戦争博物館、シンガポールのセントーサ島戦争犯罪博物館、広島長崎の原爆資料館、東京のハンセン病資料館、高松の大島青松園などの成り立ちの由来を調べることで歴史を知り、そこから今何が生まれつつあるのかを学ぶことで、表現についての思考と技術を深めます。
予習	
復習	
授業に関する注意事項	学生が自主的に資料を集め、研究発表する時間が中心となります。歴史と人類とアートについて旺盛な興味を持って下さい。
教科書	
参考書	
成績評価の基準	平常の姿勢とレポートの内容。
関連 URL	
備考	ベルリンとチェコへの校外学習を予定しています。